高等学校 令和7年度（第2学年用）　教科 地理歴史科　科目 世界史探究

単位数：　3　単位

対象学年組：第　2 学年　5,6,7,8　　組

使用教科書：（『詳説世界史　世界史探究 』(山川出版社)　　）

教科　地理歴史科　　の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うと共に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等を深める。

科目　世界史探究　　の目標：生徒の主体的な学びを軸に、現代社会の諸事情につながる歴史の流れを理解する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	A 諸地域の歴史的特質の形成 【知識及び技能】 今日の社会で一般的とされていることの多くが歴史的に形成されたもので、地域や時代によっては一般的ではないことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活と世界史のつながりについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	・世界史へのまなざし１ ・世界史へのまなざし２ 【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	【知識・技能】 今日の社会で一般的とされていることの多くが歴史的に形成されたもので、地域や時代によっては一般的ではないことを理解している。 【思考・判断・表現】 日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活と世界史のつながりについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	１章文明の成立と古代文明の特質 【知識・技能】 資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組んでいる。	1章文明の成立と古代文明の特質 １文明の誕生 ２古代オリエント文明とその周辺 ３南アジアの古代文明 ４中国の古代文明 ５南北アメリカ文明 【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	【知識・技能】 資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けているか。 【思考・判断・表現】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1

1学期	**２章中央ユーラシアと東アジア世界** 【知識・技能】 　中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活や、周辺の諸勢力との関係を、中国史との関連の中で理解する。 【思考・判断・表現】 風土を示す写真や資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 中央ユーラシアの動向あは東アジア文化圏について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	２章中央ユーラシアと東アジア世界 １中央ユーラシア ２秦・漢帝国 ３中国の動乱と変容 ４東アジア文化圏の形成 【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	【知識・技能】 　中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係を、中国史との関連の中で理解している。 【思考・判断・表現】 風土を示す写真や『史記』匈奴列伝などの資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中央ユーラシアの動向あは東アジア文化圏について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	３章南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識・技能】 南アジアで生まれた様々な宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響や南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのか理解する。 【思考・判断・表現】 インド洋航海図（地図）や資料をもとに、インド洋交易の広がりと、東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアで生まれた諸宗教や東南アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	３章南アジア世界と東南アジア世界の展開 １仏教の成立と南アジアの統一国家 ２インド古典文化とヒンドゥー教の定着 ３東南アジア世界の形成と展開 【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	【知識・技能】 南アジアで生まれた様々な宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響や南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのか理解している。 【思考・判断・表現】 インド洋航海図（地図）や『エリュトゥラー海案内記』等の資料をもとに、インド洋交易の広がりと、東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアで生まれた諸宗教や東南アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						1
	4章西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識・技能】 イラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのか、ギリシア世界と民主政の発展、古代ローマ世界の形成過程と特長、キリスト教について理解する。 【思考・判断・表現】 イラン文明の興亡、古代ギリシア・ローマ、キリスト教の特徴等について多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 イラン文明の興亡、古代ギリシア・ローマ、キリスト教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	4章西アジアと地中海周辺の国家形成 １イラン諸国家の興亡とイラン文明 ２ギリシア人の都市国家 ３ローマと地中海世界 ４キリスト教の成立と発展 【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	【知識・技能】 イラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのか、ギリシア世界と民主政の発展、古代ローマ世界の形成過程と特長、キリスト教について理解できている。 【思考・判断・表現】 イラン文明の興亡、古代ギリシア・ローマ、キリスト教の特徴等について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イラン文明の興亡、古代ギリシア・ローマ、キリスト教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	５章イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【知識・技能】 イスラームの成立と世界の特質について、西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形成したのかを理解する。 【思考・判断・表現】 図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響とヨーロッパの封建制の特質について多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム世界、ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	５章イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 １アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ２ヨーロッパ世界の形成 【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	【知識・技能】 イスラームの成立と世界の特質について、西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。 【思考・判断・表現】 図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響とヨーロッパの封建制の特質について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム世界、ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	1
	定期考査			○	○		

2学期	B諸地域の興隆・再編 ６章イスラーム教の伝播と西アジアの動向 【知識・技能】 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカ・西アジアの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解する。 【思考・判断・表現】 資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割や、外圧が西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラームの伝播や変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	６章イスラーム教の伝播と西アジアの動向 １イスラーム教の諸地域への伝播 ２西アジアの動向 【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	【知識・技能】 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカ・西アジアの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。 【思考・判断・表現】 資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割や、外圧が西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラームの伝播や変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	22
	７章ヨーロッパ世界の変容と展開 【知識・技能】 中世ヨーロッパの歴史的特質や封建社会の形成過程、文化とその特徴について、従来との比較をふまえて理解する。 【思考・判断・表現】 図資料をもとに、中世ヨーロッパの歴史的特質や封建社会の形成過程、十字軍とその意義、文化とその特徴について、多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 中世ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	７章ヨーロッパ世界の変容と展開 １西ヨーロッパの封建社会とその展開 ２東ヨーロッパ世界の展開 ３西ヨーロッパ世界の変容 ４西ヨーロッパ中世文化 【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	【知識・技能】 中世ヨーロッパの歴史的特質や封建社会の形成過程、文化とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。 【思考・判断・表現】 図資料をもとに、中世ヨーロッパの歴史的特質や封建社会の形成過程、十字軍とその意義、文化とその特徴について、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中世ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	８章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【知識・技能】 10～12世紀のアジア諸国の動向、モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解する。 【思考・判断・表現】 モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアやモンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	第８章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国 １アジア諸地域の自立化と宋 ２モンゴルの大帝国 【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	【知識・技能】 10～12世紀のアジア諸国の動向、モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。 【思考・判断・表現】 モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアやモンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	９章大交易・大交流の時代 【知識・技能】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアや、ヨーロッパの海洋進出はどのような意義があったのかを理解する。 【思考・判断・表現】 資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流や、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響について、多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア交易世界やヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	９章大交易・大交流の時代 １アジア交易世界の興隆 ２ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	【知識・技能】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアや、ヨーロッパの海洋進出はどのような意義があったのかを理解している。 【思考・判断・表現】 資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流や、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響について、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア交易世界やヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10

３学期	１０章アジアの諸帝国の繁栄 【知識・技能】 オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国の隆盛と清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 資料をもとに、オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したり、ムガル帝国とその衰退が南アジアに与えた影響を考察したり、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 西アジア・南アジア・清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	１０章アジアの諸帝国の繁栄 １オスマン帝国とサファヴィー朝 ２ムガル帝国の興隆 ３清代の中国と隣接諸地域 【教材等】 ・教科書・図説 ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	１０章アジアの諸帝国の繁栄 １オスマン帝国とサファヴィー朝 ２ムガル帝国の興隆 ３清代の中国と隣接諸地域 【教材等】 ・教科書・図説・準拠ノート ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計 140